

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 湯前町社会福祉協議会

事業報告

Ⅰ 法人運営事業拠点区分

①役員会等の開催

1) 理事会（全15議案3報告）

第1回	5月8日	3議案（書面決議）
第2回	6月10日	4議案 1報告
第3回	12月3日	2議案 1報告
第4回	3月11日	6議案 1報告

2) 評議員会（全6議案）

第1回	6月26日	1議案
第2回	12月11日	1議案
第3回	3月27日	4議案

全議案原案のとおり可決した。

3) 監査 6月4日

令和5年度事業報告並びに収支決算について

4) 評議員選任・解任委員会

第1回 5月21日 評議員2名の選任

5) 事業推進委員会

第1回	4月17日	日赤会費募集について
第2回	8月19日	社協会員会費徴収依頼について
第3回	9月19日	共同募金活動依頼について

②会員会費募集活動

	件数	金額
特別会員（10,000円）	12件	120,000円
賛助会員（1,000円）	271件	271,000円
一般会員（300円）	1,037件	311,100円
その他	6件	3,000円
合計	1,326件	705,100円

前年比で、39件の減、金額は22,400円減であった。会費は地域福祉推進事業に活用させていただきます。

③寄附金報告

	件数	金額
一般寄附金	0件	0円
香典返し寄附金	50件	1,185,000円
合計	50件	1,185,000円

ご寄附に対し、深く感謝申し上げます。地域福祉推進事業に活用させていただきます。

④地域福祉推進事業

事業名	内 容
児童福祉事業	新一年生への黄色い帽子・安全タスキ寄贈事業 11セット 準要保護世帯児童修学旅費助成 小学生4名・中学生3名
老人福祉事業	生き生き健康教室（レク担当）29回実施 214名 支援家庭リサイクル品回収事業 4回実施 68件 高齢者福祉事業 小学校運動会へ的高齢者招待 22名 誕生会 3回開催 119名

母子福祉事業	一日家族行事 荒尾市グリーンランド 15名
地域福祉事業	事業推進委員会活動費助成 23名 地域福祉活動支援事業 15地区実施 585名
心配ごと相談 所設置事業	心配ごと・行政・人権合同定例相談会 12回開催 相談件数 28件

地域福祉活動支援事業は15地区実施でやや少なかった。支援家庭リサイクル品回収事業は、民生委員協議会と合同で予定通り実施し、対象者から感謝の言葉をいただき、大変喜んでいただいた。

⑤共同募金配分金事業

事業名	内 容
老人福祉 活動事業	在宅寝たきり者等歳末見舞い 対象者24名に商品券を配付 短期生活介護自己負担額補助事業 利用者12名 いきいき交流事業 7回開催 参加数延べ 老人クラブ41名、民生委員29名 在宅介護者リフレッシュ事業6名
障害児・者 福祉活動事業	在宅寝たきり者等歳末見舞い 対象者1名 あゆみの会七夕まつり、クリスマスの集い参加協力参加者190名
児童福祉 活動事業	学童クラブとの合同事業（慈光・湯愛学童クラブ） 花いっぱい交流事業 通常開催 春・秋2回開催 小学生57名、老人クラブ56名 ふれあいの集い 独居高齢者を招待し、軽スポーツ大会を行う 小学生32名、高齢者6名 卒業記念品作成事業 卒業記念品としてマグカップ作成 小学生28名、陶芸部会7名 子育て世帯支援事業（ベビーグッズセット） 14件
福祉育成・ 援助活動事業	事業推進委員会活動費助成 23名 小学校・中学校ボランティア協力校支援事業 ちょこっとボランティア「ささえあい」事業費助成 傾聴ボランティア育成事業（未実施）

「いきいき交流事業」は7回実施、小学校の「花いっぱい交流事業」は給食を通しての交流を2回実施、卒業記念品作成事業は通常通り開催した。新規事業の子育て世帯支援事業では新生児誕生世帯へベビーグッズセットをプレゼントし、ご家族から大変好評であった。在宅介護者リフレッシュ事業は介護者の方々と情報交換会を行った。

⑥地域福祉団体への助成及び事務支援

1) 団体助成（2団体）

老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協議会

2) 事業助成

慰霊祭（湯前町遺族会） 5月23日実施

3) 事務支援及び連絡調整等（各団体の事務局を担当し、自主活動を支援）

民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障がい者福祉協議会
ボランティア連絡会、ちょこっとボランティアささえあい

⑦その他の地域福祉推進事業

1) ボランティア活動の促進と福祉教育の推進

ワークキャンプ小学校 1名（湯愛）

ワークキャンプ中学校 7名（福寿荘3名、湯愛4名）

2) 低所得者対策事業

福祉金庫貸付事業 貸付者数 1件 貸付金額 20,000円

資産総額 585,524円（通帳残550,524円+貸付金未償還額35,000円（1件））
（運用状況）

収入		支出	
前年度繰越金	545,228円	貸付金	20,000円
償還金	25,000円		
利息	296円		
合計	570,524円	合計	20,000円
		当年度繰越金	550,524円

（貸付状況）

支出		収入	
前年度未償還額	40,000円	償還額	25,000円
貸付額	20,000円		
合計	60,000円	合計	25,000円
		未償還額	35,000円

長期滞納者が1名おられるが、督促状の送付等償還に向けた取組みは継続して行っている。

3) 健康福祉まつり（ゆのまえ漫画フェスタ）

中学生ボランティア6名、小学生ボランティア4名による共同募金広報活動を実施

4) 赤い羽根共同募金活動

募金名	件数	金額
戸別募金	1,216件	611,500円
大口・法人募金	47件	248,000円
職域募金	7件	169,500円
学校募金	1件	9,429円
街頭募金	1件	73,778円
その他の募金	17件	75,523円
合計	1,289件	1,187,730円

前年比24件減だったが金額は30,284円増額となった。街頭募金やその他の募金等で増額したが戸別募金、職域募金などが減額となった。令和7年度に1,017,730円が共同募金配分金として湯前町に配分されます。

多くの方の善意をいただくことができました。大変お世話になりました。

5) 日赤会費募集（令和6年度実績）

会費総数 1,238件 607,000円

令和6年能登半島地震災害義援金 5件 49,700円

会費募集活動の際は、事業推進委員、地域婦人会の皆様にご協力いただきました。町民の皆様の大きな支援に感謝申し上げます。

6) 情報の整備と提供

ホームページ（社会福祉協議会・保育園）運営

閲覧者 社会福祉協議会 年間ユーザー 2,193名 表示回数 21,529回

保育園 年間ユーザー 4,383名 表示回数 80,042回

7) 地域福祉権利擁護事業

利用者実人員 9名（新規契約者 1名）

支援件数 217件

認知症など判断能力に不安がある方を対象に、日常的な金銭管理等の支援を行う。

8) 生活困窮者等自立相談業務支援事業

相談者実人員 8名（生計5件、家計管理2件、学習支援1件）

プラン作成件数 0件

生活困窮者に対し、第2のセーフティネットとして就労支援や家計相談等の支援を行うことにより、自立の促進を図ることを目的としています。

9) 災害ボランティアセンター設置訓練（郡市社協合同事業）

コロナ以降、実地訓練に代わって郡市社協合同で自主研修会を年に2回程度行っています。今後の実地訓練は数年おきに開催を予定し、現在主流となっているインターネットを活用した災害ボランティアセンター運営方法を学んでいきます。

2 介護保険事業拠点区分

①会議及び研修

居宅介護支援

居宅介護支援事業所連絡会（事例検討会）、上球磨地域事業所連絡会代表者会、上球磨地域事業所連絡会研修（令和2年7月豪雨災害を振り返って・能登半島地震、1.5次避難所での活動について、災害時情報共有訓練、ACP人生会議とは？、感染症対策）、球磨圏域介護支援専門員協会総会・研修（介護保険サービス利用者の障害福祉サービスの利用について、ヤングケアラーの支援の在り方）、居宅介護支援事業者集団指導、総務厚生文教常任委員会（湯前町社会福祉協議会事業について）、湯前町民生児童委員協議会定例会、ケアプラン点検研修会、高齢者の口腔ケアとリハ、適切なケアマネジメント手法研修、熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター上球磨地域包括支援センター合同事例検討会（高齢者の権利を守る）、キャラバンメイト・認知症サポーターフォローアップ講座、ケアプランデータ連携システム研修会、上球磨地域ケア会議、水上村災害対応訓練、熊本県介護支援専門員協会・熊本県歯科医師会合同企画研修会（口腔健康管理の重要性について、今後望まれる介護支援専門員と歯科医療の関係性について）、介護支援専門員としての働き方を考えよう、ケアマネジメント研修会、認知症サポーター養成講座（中学校）、湯前町防災訓練、ケアプラン点検事業、健康づくり推進協議会（歯科専門部会）、ほんわり会、指定障害福祉サービス事業所等集団指導、上球磨地域包括支援センター運営協議会、湯前町介護保険運営委員会、介護現場における生産性向上推進フォーラム

訪問介護

上球磨地域介護事業所連絡会、研修（高齢者の口腔ケアとリハ）、介護サービス事業者集団指導、第1回ホームヘルプの質を高めるオンラインサロン、ケアプランデータ連携システム、研修（ACP人生会議）、介護現場における生産性向上推進フォーラム、指定障害福祉サービス事業者等集団指導

通所介護

上球磨地域事業所連絡会（災害対応訓練）、上球磨地域ケア会議、介護サービス事業者等集団指導、熊本県老人福祉施設デイサービス職員研修会、ケアプランデータ連携システム研修会、老人福祉施設研究大会、介護現場における生産性向上推進フォーラム

②介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業等実績報告

1) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

		令和6年度	月平均
居宅介護支援事業	(要介護1~2)	970件	80.8件
	(要介護3~5)	322件	26.8件
	サービス件数計	1,292件	107.7件
	居宅介護料収入	19,372,000円	1,614,333円

前年比17件減、居宅介護費収入は157,550円減となった。湯前町の高齢化率は上昇しているが、人口減少と共に高齢者総数も減少しており、今年度は、解約者が新規契約者を上回っている。入院から療養型病院へ転院される方や施設へ入所される方が多かった事も要因の一つと考える。湯前町に唯一の居宅介護支援事業所として、介護支援専門員3名体制で、特定事業所加算Ⅲを算定し、質の高いケアマネジメントを提供できるよう日々業務を行っている。

社会福祉協議会の特性を活かし、権利擁護事業担当者や民生委員、区長、シルバーボランティアの方々等と情報共有し、行政、病院、上球磨包括支援センター等、関係機関とも連携しながら、独居の方、認知症や精神疾患を有する方、医療処置を要する方、経済的な問題や家庭内の問題等、多様な課題を抱えておられる方々にも対応できるようにしている。また、上球磨包括支援センターより、要支援認定者の介護予防計画書作成についても業務委託を受けており、介護予防マネジメント業務も行っている為、軽度の方から重度の方まで対応できるようになった。

今後も湯前町の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく生き生きとした生活を送ることができるよう、身近な存在として寄り添い、専門性を活かし支援していきたいと思う。

2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

		令和6年度	月平均
訪問介護	身体介護	1,094件	91.2件
	身体介護・生活援助	226件	18.8件
	生活援助	1,517件	126.4件
	サービス件数計	2,837件	236.4件
	介護報酬収入	8,237,650円	686,471円
総合事業（介護予防）	サービス件数計	446件	37.2件
	介護予防報酬収入	1,616,780円	134,732円

介護保険利用者29名。うち新規契約者・利用再開8名、解約者11名（入院・入所者8名中止3名）前年度に比べ、利用者数と掃除や買い物などを行う生活援助の回数が減少した。基本単位が高いオムツ交換や自宅入浴などの身体介護、身体介護を行った後に生活援助を行う複合支援の回数は増えたが、収入減となった。そのほか、令和6年度に介護報酬改定があり基本単位数が減少し、次回の介護報酬改定の基本単位数増加を期待したい。

総合事業利用者13名。うち新規契約者5名、入院・死去4名。前年度に比べ利用者数はあまり変わらなかったが、週1回の利用者様が多く、介護報酬は減少した。

もう一つの課題であるヘルパーの人材確保が難しくなっている為、今後利用者のニーズにあったサービスを提供出来るか危惧している。

利用者様が住み慣れた在宅で安心して過ごしていただけるよう、行政、地域、他事業所、居宅・通所と連携を行いながらサービス提供に努めていきたい。また、訪問時の検温・マスク着用・消毒など感染対策を継続している。

3) 通所介護事業（デイサービス）

		令和6年度	月平均
通所介護	通所介護（要介護1）	2,305件	192.1件
	（要介護2）	2,619件	218.3件
	（要介護3）	1,129件	94.1件
	（要介護4）	328件	27.3件
	（要介護5）	28件	2.3件
	サービス件数計	6,409件	534.1件
	介護報酬収入	58,693,050円	4,891,088円
総合事業（介護予防）	サービス件数計	496件	41.3件
	介護予防報酬収入	2,413,510円	201,125円
食費	サービス件数	6,903件	575.3件
	食費収入	3,796,650円	316,388円
教育費	サービス件数	693件	57.8件
	その他の利用料収入	69,300円	5,775円

年間行事	
ア) 季節行事	桜花見(市房ダム周辺)、つつじ見物、大運動会、避難訓練、敬老週間、紅葉狩り、クリスマス会、絵馬作り、初詣（里宮神社）、節分
イ) 特別食	花見弁当、敬老・正月祝い膳
ウ) レク大会	カラーお手玉等の体を使ったゲーム、テーブルゲーム、いきいき百歳体操

年度初めは要介護者60名、総合事業（要支援者含む）7名の計67名で開始した。新規契約者17名、契約解除者24名（施設入所、死亡）。利用回数増を希望される利用者も見られた。要介護4・5の利用者が減っているが、認知症の利用者が増加しており、見守りの頻度は増加している。1日平均利用者25名を目標に取り組んだ結果、22.65人/日で大きく目標には及ばなかった。夏場に落ち込んだ利用者数が秋冬にかけて戻らなかった。介護報酬金額は、前年比2,682千円減となった。

令和6年度もコロナ感染症が職員・利用者に発症した。1月に起こった職員3名の発症は休憩室での過ごし方が原因だったと思われる。マスクの必要性が再度認識された。再び感染クラスター発生とならないよう日常生活も含めて気を抜かないようにしていく。

また、コロナ対策として様々なイベント、ボランティアの受け入れを縮小、中止を継続している。おやつ作り、ボランティア等の受け入れ、1番の楽しみにされている保育園・こども園との交流、心のふれあいレクリエーションなどが依然として中止。敬老会も行事食と職員の催し物のみで縮小して実施した。今後はイベント、ボランティアの受け入れを再開できるよう現在検討中である。引き続き、日頃のゲームやレクリエーション、いきいき百歳体操、ユーチューブを活用した脳トレ、口腔体操等を充実させ、利用者が安心して楽しめる施設を目指していきたい。

利用者にはマスク着用、食事中は黙食、消毒の徹底など不自由さは当分続くが、その中でも楽しくできる事、利用者が望まれる事に耳を傾け、コロナ対策を行いながら、行政、居宅支援事業所、他事業所、包括支援センターとの連携を行い、安心安全で「また来たい」と思っているだけの魅力的な介護サービスを目指している。

③障害者福祉サービス事業実績報告

1) 指定障害福祉サービス事業

		令和6年度	月平均
指定障害福祉サービス	身体介護	956件	79.7件
	家事援助	649件	54.1件
	サービス件数	1,605件	133.8件
	介護給付費収入	7,643,620円	636,968円

利用者4名。うち新規契約者1名、入院2名。身体介護は、1日2～3回訪問し、日常生活に欠かす事ができない食事や排せつ介助を、1年を通して支援し、家事援助においては、生活スキルを身につけるため掃除や片付けなど助言を行いながら支援している。令和6年度に障害報酬改定があり、若干の基本単位数増加となり、やや収入増になった。今後も利用者様の希望に添う支援を心がけて行きたいと思う。

④委託事業実績報告

1) 地域支援事業

事業名	内 容
介護予防日常生活総合支援事業	ア) 通所サービス（A型）79回 イ) 通所サービス（C型）50回
一般介護予防事業	地域づくりによる介護予防推進支援事業（いきいき運動クラブ） 26クラブ（22分館＋4クラブ）（123回）
その他	JA移動販売所訪問 7回 介護用ベッド搬入等 3件
会 議	総合事業に係るサービス調整会議、上球磨地域ケア会議 ちょこっとボランティア「ささえあい」、湯前町高齢者福祉計画策定等 検討委員会、湯前町介護保険運営協議会、民生委員児童委員協議会、湯 前町老人クラブ連合会役員会、湯前町シルバーボランティア役員会、辻 地区役員会、古城区役員会、湯前町地域公共交通施策懇談会、古城区総 会、下村区第1回協議体
研 修	人吉球磨ブロックSC意見交換会（2回）、球磨村生活支援サポートグル ープ世話焼き隊総会、多良木町SCとの意見交換会、生活支援コーディネ ーターブロック別連絡会議、生活支援コーディネーター養成研修、火の 国ボランティアフェスタ、生活支援体制づくり事業説明（錦町）、生活支 援コーディネーターテーマ別連絡会議、長野県移動サービス事例報告会 （WEB）、ケアマネジメント研修会、えびす顔サポート事業説明会、九州厚 生局地域共生セミナー（WEB）

一般介護予防事業「地域づくりによる介護予防事業推進支援事業」として、地区の公民分館を活用し22分館が活動中。週1回分館へ通い、「いきいき百歳体操」に取り組む中で、出前講座を盛り込み様々な活動を実施している。

B＆G海洋センターを活用した通所型サービスA（通所A）では、毎週火・水曜日の午前中に自宅で出来る運動や体操、レクリエーション等を実施。自宅では、「自宅脳トレ」問題、「自宅で出来る運動」に取り組んでいただいている。通所型サービスC（通所C）は、今年度は利用者の送迎のみを担当。事故なく安全に実施できた。次年度は運営補助も行うため、各専門職や行政と連携をとっていく。

令和2年度から活動している ゆのまえちょこっとボランティア「ささえあい」では、高齢者、障がいがある方や子育て世帯などを対象とし、日々の暮らしの中で起こる“ちょっとした困りごと”のある方（利用会員：45名）に、そのお手伝いができる方（協力会員：28名）が有償ボランティアとして活動し、日々の暮らしをサポートする会員制のボランティア活動を行う。活動開始からの5年間でサービスの種類も増え、利用者のニーズと協力会員との間で順調にマッチングできていることから、利用会員からたくさんの感謝のお言葉をいただいている。

また、支え合いマップ作り説明会を2地区（古城、辻地区）にて実施。高齢者や障がい者など、支援を必要とする人々が安心して暮らせるよう地域の支え合いの体制強化を図り、見守り活動や生活支援ボランティアの育成及びニーズの把握を行う。

今後も地域の支えあい体制づくり（生活支援体制整備事業）として、住民主体の通いの場を増やしつつ、地域の支え手とともに困りごと等の解決策、対応策などを話し合いながら介護予防に取り組みたい。

2) 子育て世帯訪問支援事業

		令和6年度	月平均
子育て世帯訪問支援事業	家事支援	28件	2.3件
	委託料収入	94,108円	7,842円

役場の委託事業。生活環境や精神的に不安がある養育状態の方の家庭に支援を実施している。1世帯のみの利用。令和6年度介護報酬改定に伴い、利用料金の見直しが行われた。疲労軽減目的により調理・買物支援を行い、傾聴を行う事で安心感が得られている。今後も利用者様に寄り添い信頼関係が築けるよう支援していきたいと思う。

3 生活支援ハウス拠点区分

①受託事業実績報告

1) 高齢者生活福祉センター受託事業

利用者数 実人数 8名

新規契約者 1名、契約解除者 2名

サロン活動等 7回開催（内容：5月、11月避難訓練、買い物同行、茶話会）

買い物代行サービス 延べ27回

隣保間とのトラブル、怪我等もなく健やかに過ぎていただけたと思う。

4 放課後児童健全育成事業拠点区分

① 学童クラブ運営事業実績報告

			令和6年度	月平均
学童クラブ事業	利用人数		11,131人	927.6人
	開設日		289日	24.1日
	学年別 登録児童数	1年生	134人	11.2人
		2年生	156人	13.0人
		3年生	165人	13.8人
		4年生	99人	8.3人
		5年生	156人	13.0人
		6年生	19人	1.6人
	登録児童総数		729人	60.8人

会議及び研修

- ・放課後児童支援員認定資格研修・放課後子ども総合プラン推進事業研修会
- ・熊本県学童保育研修会・球磨圏域わらつ連続講座・救急法講習

年間行事

- ア) 夏休み （制作活動、学童夏祭り）
- イ) 冬休み （制作活動、クリスマス会、正月遊び）
- ウ) 春休み （制作活動）
- エ) その他 （火災避難訓練・地震避難訓練・防犯訓練）

65人の登録でスタートし、途中退所が8人でした。11月から12月にかけて感染力の強いマイコプラズマ肺炎が流行し、学校内や家庭内での感染もみられ、症状が長引く子どももいた為、手洗い消毒、こまめな換気、マスク着用などで感染対策を強化し、感染拡大を防ぐよう心がけた。

長期休暇での行事は、計画、準備、進行など子どもたち主体で実施したことで、みんなが積極的に行事に取り組むことができたと感じている。

5 保育所運営事業拠点区分

① 湯前保育園事業実績報告

			令和 6 年度	月平均
湯前保育園事業	保育日数		291 日	24.3 日
	登録園児数	0 歳児	135 人	11.3 人
		1 歳児	117 人	9.8 人
		2 歳児	225 人	18.8 人
		3 歳児	120 人	10.0 人
		4 歳児	108 人	9.0 人
		5 歳児	84 人	7.0 人
		合計	789 人	65.8 人

○会議及び研修

キャリアアップ研修（マネジメント、乳児保育、幼児教育、障害児保育、保健衛生・安全対策）、緊急対応事業学習会、園内研修（6 回実施）

○年間行事

ア）季節行事	水泳、運動会、遠足、発表会、クリスマス会、餅つき マラソン大会、節分、卒園式
イ）交流事業	祖父母交流、野菜づくり、慈光こども園年長児交流
ウ）学習会	親子体験学習、親の学び
エ）その他	運動遊び、サッカー教室、和太鼓教室、避難訓練、保育参観 里宮祭り、漫画フェスタ、出初式

○補助事業 6,229,000円

病児保育（体調不良型）	延べ 107 人	3,763,000 円
延長保育	延べ 55 人	300,000 円
保育体制強化事業	保育に係る周辺業務（用務員）人件費	1,200,000 円
地域活動事業	地域の方々との交流事業（育児講座等）	300,000 円
ICT推進事業	保育システムの導入	666,000 円

○自主事業

一時預かり事業	2 人 4 日利用
子育てサークル	21 回実施 延べ 136 人参加

4 月に 60 人でスタート。年度途中の入園児は 11 人、退園児は 4 人。

ICT を活用した業務システムの導入により、職員の事務（帳票や手書きでの連絡帳記入）の軽減や園での子どもの様子を毎日写真で伝えるなど保護者にも大変喜ばれている。

施設整備においては、老朽化した遊具（ブランコ、飛行機滑り台、タイヤ跳び箱）の修繕、園庭の漏水箇所の配管修繕をおこなった。

また、将来における備えとして施設整備費 1,800 万円を積立てた。

6 収益事業（祭壇貸付事業拠点区分）

①祭壇貸付事業実績報告

1) 祭壇貸付事業 0 件